【授業科目】保健医療統計学　　Health Statistics

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
工藤 安史	１年次 後　期	選　択	2	30	講　義		巻末掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する フィードバック	授業概要／統計処理は、通常、統計ソフトを用いる。しかしながら、統計学的な考え方や基礎知識を身につけていないと、統計ソフトを使いこなすことはできない。そこで、この講義では、実際に電卓を使って保健・医療・福祉に関連する統計に関するデータを計算することで、統計学の考え方の基礎を身につけさせる。また、練習問題を解くことで、知識の定着を図る。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業中の確認テストおよびレポート課題、さらに学年末試験などに対して、講義中および掲示板を通して、学習方法について助言する。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から医療技術援助ができる」の達成に寄与している科目である
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①保健・医療・福祉に関連するデータを分析し、エビデンスに基づく質の高い医療サービスを提供できる。 ②統計処理を行っている文献を読み、文献の内容を理解できる。 ③卒業論文を含め、統計学の知識を用いて研究を実践できる。
時間外学習に必要な 内容・時間	第1回から第15回の事前学習：講義レジメを配布しますので、レジメを予め読んで来て下さい。また、教科書で該当する箇所を読んできて下さい(目安となる事前学習の時間は、1回あたり2時間です）。 第1回から第15回の事後学習：講義で指導した内容を踏まえ、レジメプリントおよび教科書を中心に復習して下さい（目安となる事後学習の時間も1回あたり2時間です）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回から第4回　データのまとめ方 　度数分布表、ヒトグラム、分布の特性値（平均、中央値、標準偏差など）、グラフの作成方法などについて学ぶ。 第5回から6回目　正規分布とｔ分布 　正規分布の特徴の他、データの標準化について学ぶ。また、ｔ分布について学ぶ。 第7回から第8回　練習問題を解く 　練習問題にトライすることで、第1回から第6回までの講義で学んだ知識を定着させる。 第9回から第12回　仮説検定 　仮説検定とは何か、ｔ検定、カイ二乗検定などを学ぶ。 第13回から第15回　まとめ 　保健医療統計学に関連する練習問題を解くことで、知識を定着させる。 全て 工藤
評価方法 評価基準	筆記試験 100%で評価します。
教科書	浅野嘉延　看護学生のための疫学・保健統計学 改訂第4版　南山堂 参考書等：必要に応じて、書籍や文献を紹介する。
学生への メッセージ	医療の質を高めるために、保健医療統計学の知識が必要不可欠であることを講義中に話します。看護学生の教科書になっているが、内容が分かりやすく、かつ優れた練習問題が収録されている。統計学は、どの学科でも、指導内容が変わることが無いため、上記の教科書を使用する。